

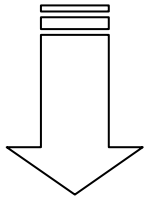
# 第3回菊陽町協働の 仕組みづくり検討委員会



# なぜ住民参加が必要なのか

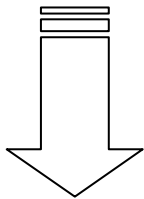
- 地域のことを一番知っているのは地域の住民であり、その住民の意向を踏まえた行政運営を行うことは、地域が持つ資源を活用した身の丈にあったまちづくりであり、住民自治を実現させる。
- 夕張市では、観光政策の一環として巨額を投じていくつもの施設を作り、財政を圧迫していった。財政情報を公開し、住民参加の手続きをしていれば、「観光施設は必要ない、その財源を教育や福祉へ充てて欲しい」という意見が多かったのではないだろうか。又、その後の財政運営も変わっていたと考えられる。

## 情報共有



## 住民参加

- 間接民主主義の欠陥を補強
- 行政への住民の意思の反映
- 行政活動の監視(チェック)



## 住民自治の実現

- ・行政の説明責任
- ・行政の計画、実施、評価
- ・住民、地域からの情報を発信、行政は積極的な情報収集
- ・私達の税金がどう使われているか、どう使っていくのか

- ・行政が住民の意思と相容れないような状況が生じた場合の是正
- ・行政からの一方通行の説明だけでなく、住民の意向を吸収
- ・町の政策と住民の意向がマッチしているか
- ・私達の税金をこのように使って欲しい
- ・政策の選択、提案


- ・民主的正当性の確保
- ・自治意識の向上
- ・新しい公共サービスの充実
- ・住民満足度の向上



## 菊陽町では

- 必要性はさまざま考えられるが、では菊陽町でなぜ必要なのか、身近な課題に「置き換えて」検討する。

課題の整理が必要



# 協働の仕組みづくりに関する意見書

- 住民ワークショップ
  - コミュニティ検討委員会
  - 職員プロジェクト
- 
- それぞれに検討された課題や解決策
  - どのような課題があるのか

## 住民ワークショップ

マナーやモラルの低下が起きている (ペットの糞の散乱、ごみの分別、迷惑駐車)	住民が町のことをよく知らない
人口増加により、地域のまとまりが薄れている	住民どうしの交流、コミュニケーションの場が少ない
商業が発展したが、その反面、治安が悪化し、非行少年のたまり場ができた	地域内のコミュニケーションに不安がある
高齢者が安心、安全に暮らせない(悪徳商法の存在や公共交通の不便さ)	気軽に利用できる施設が必要
地域性(東部と西部)や住民性(新住民と旧住民)の違いがある	多様な住民ニーズにあった施設が必要
地区の集まりがあっても参加が少ない	地域内外の交流が不足している
住民が活動できる施設が不足していることに加え、施設の利便性に欠ける。	住民同士のつながりや地域間の交流が必要
街灯が少ない 暗い箇所、危険な箇所がある	自治会活動への参加の減少

## コミュニティ検討委員会

地域における連帯感が希薄化し、地域が本来持っている相互扶助機能の低下	活動主体間の連携が十分とれていないことで活動内容が類似
自治会等地域活動への参加者の減少や固定化	補助金に制約があり使いにくい
自治会未加入者の増加、担い手の高齢化、活動内容のマンネリ化	各種支援制度に関する情報提供(質、量)
困ったときに相談するところがわからない	活動のための施設不足
ボランティアやNPO法人に対する情報提供や支援	

## 職員プロジェクト

必要な情報を必要な時に必要な方が得られる環境	住民ニーズや企業の声、あるいは行政の思いなどのそれぞれのギャップ
情報の発信や提供を一方的に行うのではなく、双方向のやりとりで	隣近所と疎遠になった
気軽に集まれる場がない	「協働」は行政以外にあまり浸透しているとは言えない
「場」の希薄化によって地域内の縦横の関係を新しくすることが難しい	「協働」が行政主導のもとで提唱されなければならなくなった地域社会の現状

## 情報共有

住民が町のことをよく知らない
補助金に制約があり使いにくい
各種支援制度に関する情報提供(質、量)
困ったときに相談するところがわからない
ボランティアやNPO法人に対する情報提供や支援
必要な情報を必要な時に必要な方が得られる環境
「協働」は行政以外にあまり浸透しているとは言えない
「協働」が行政主導のもとで提唱されなければならなくなった地域社会の現状
情報の発信や提供を一方的に行うのではなく、双方向のやりとりで

住民ニーズや企業の声、あるいは行政の思いなどのそれぞれのギャップ

## 施設

住民が活動できる施設が不足していることに加え、施設の利便性に欠ける。
街灯が少ない暗い箇所、危険な箇所がある
活動のための施設不足
気軽に利用できる施設が必要
多様な住民ニーズにあった施設が必要

## 都市環境

マナーやモラルの低下が起きている(ペットの糞の散乱、ごみの分別、迷惑駐車)
商業が発展したが、その反面、治安が悪化し、非行少年のたまり場ができた
高齢者が安心、安全に暮らせない(悪徳商法の存在や公共交通の不便さ)

## 地域性

地域性(東部と西部)や住民性(新住民と旧住民)の違いがある

## 参加の減少

人口増加により、地域のまとまりが薄れている
自治会等地域活動への参加者の減少や固定化
自治会未加入者の増加、担い手の高齢化、活動内容のマンネリ化
地区の集まりがあっても参加が少ない
自治会活動への参加の減少
隣近所と疎遠になった

## 交流と場

気軽に集まれる場がない
「場」の希薄化によって地域内の縦横の関係を新しくすることが難しい
活動主体間の連携が十分とれていないことで活動内容が類似
地域における連帯感が希薄化し、地域が本来持っている相互扶助機能の低下
住民どうしの交流、コミュニケーションの場が少ない
地域内のコミュニケーションに不安がある
地域内外の交流が不足している
住民同士のつながりや地域間の交流が必要

# 第2回 検討委員会 主な課題

## 情報共有

地域の問題が起きたとき、どこにもっていくと良いかわからない
目標など先に見えるものがないと参加しないのでは
町のビジョンがわからない
行政で動いている状況がわからない

## 人

よそもの意識
地域リーダーの育成、質の向上
単身者など地域活動に無関心であると放置されている
行政は住民を教育してこなかった（人づくりをしてこなかった）
行政依存型住民

## 都市環境

開発による交通事情の変化
--------------

## 参加の減少

集合住宅にお住まいの方達の地区活動への参加が少ない
行政は地域づくりをしていなかった

## 交流と場

地域の住民が集う場が必要
--------------

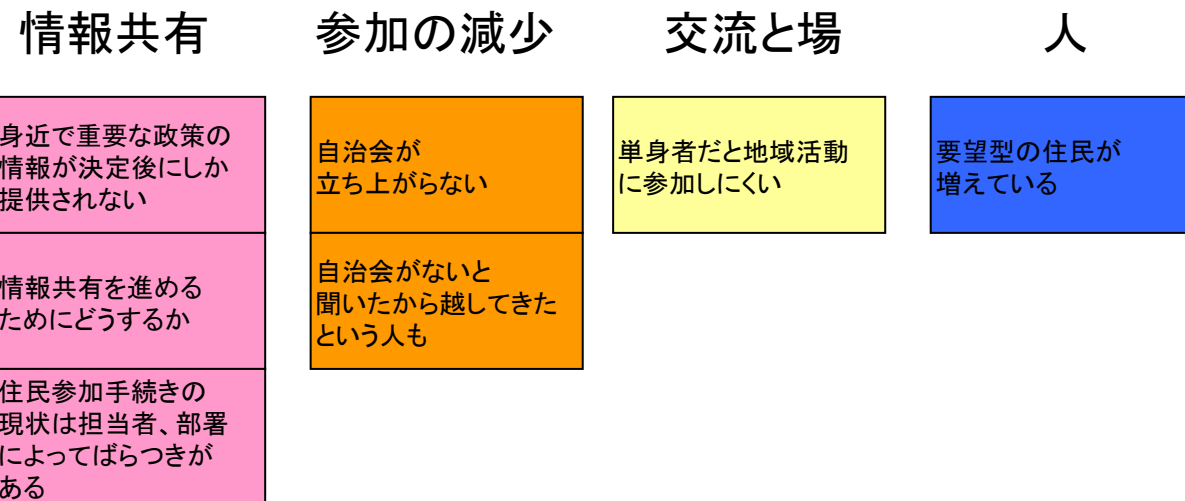
## 地域性

南校区は過疎
既存集落、新興住宅、温度差や考え方に違いがある
偏った町の開発（発展）
都市化型と過疎型特徴を活かしたコミュニティづくり



# 行政から見た課題

- 協働の仕組み検討プロジェクトを開催し、町の課題について検討



# 分類化

## ⑥交流と場

### ①情報共有

(1)	<p>地域の問題が起きたとき、どこにもっていくと良いかわからない</p> <p>困ったときに相談するところかわからない</p> <p>各種支援制度に関する情報提供(質、量)</p> <p>ボランティアやNPO法人に対する情報提供</p> <p>身近で重要な政策の情報が決定後にしか提供されない</p> <p>住民参加手続きの現状は担当者、部署によってばらつきがある</p> <p>補助金に制約があり使いにくい</p>	(3)	<p>住民が町のことをよく知らない</p> <p>目標など先に見えるものがないと参加しないのでは</p> <p>町のビジョンがわからない</p> <p>行政で動いている状況がわからない</p>
(2)	<p>必要な情報を必要な時に必要な方が得られる環境</p>	(4)	<p>情報共有を進めるためにどうするか</p>
		(5)	<p>住民ニーズや企業の声、あるいは行政の思いなどのそれぞれのギャップ</p> <p>情報の発信や提供を一方的に行うのではなく、双方向のやりとりで</p> <p>「協働」は行政以外にあまり浸透しているとは言えない</p> <p>「協働」が行政主導のもとで提唱されなければならなくなった地域社会の現状</p>

### ②施設

(6)	<p>住民が活動できる施設が不足していることに加え、施設の利便性に欠ける</p> <p>活動のための施設不足</p> <p>気軽に利用できる施設が必要</p> <p>多様な住民ニーズにあった施設が必要</p>
(7)	<p>街灯が少ない 暗い箇所、危険な箇所がある</p>

### ③人

(8)	<p>よそもの意識</p> <p>単身者など地域活動に無関心であると放置されている</p> <p>行政は住民を教育してこなかった(人づくりをしてこなかった)</p>
(9)	<p>行政依存型住民</p> <p>要望型の住民が増えている</p>
(10)	<p>地域リーダーの育成、質の向上</p>

### ④都市環境

(11)	<p>マナーやモラルの低下が起こっている(ペットの糞の散乱、ごみの分別、迷惑駐車)</p> <p>商業が発展したが、その反面、治安が悪化し、非行少年のたまり場ができた</p>
(12)	<p>高齢者が安心、安全に暮らせない(悪徳商法の存在や公共交通の不便さ)</p>
(13)	<p>開発による交通事情の変化</p>

### ⑦地域性

(14)	<p>地域性(東部と西部)や住民性(新住民と旧住民)の違いがある</p> <p>都市化型と過疎型特徴を活かしたコミュニティづくり</p> <p>南校区は過疎</p> <p>既存集落、新興住宅、温度差や考え方に違いがある</p> <p>偏った町の開発(発展)</p>
------	--

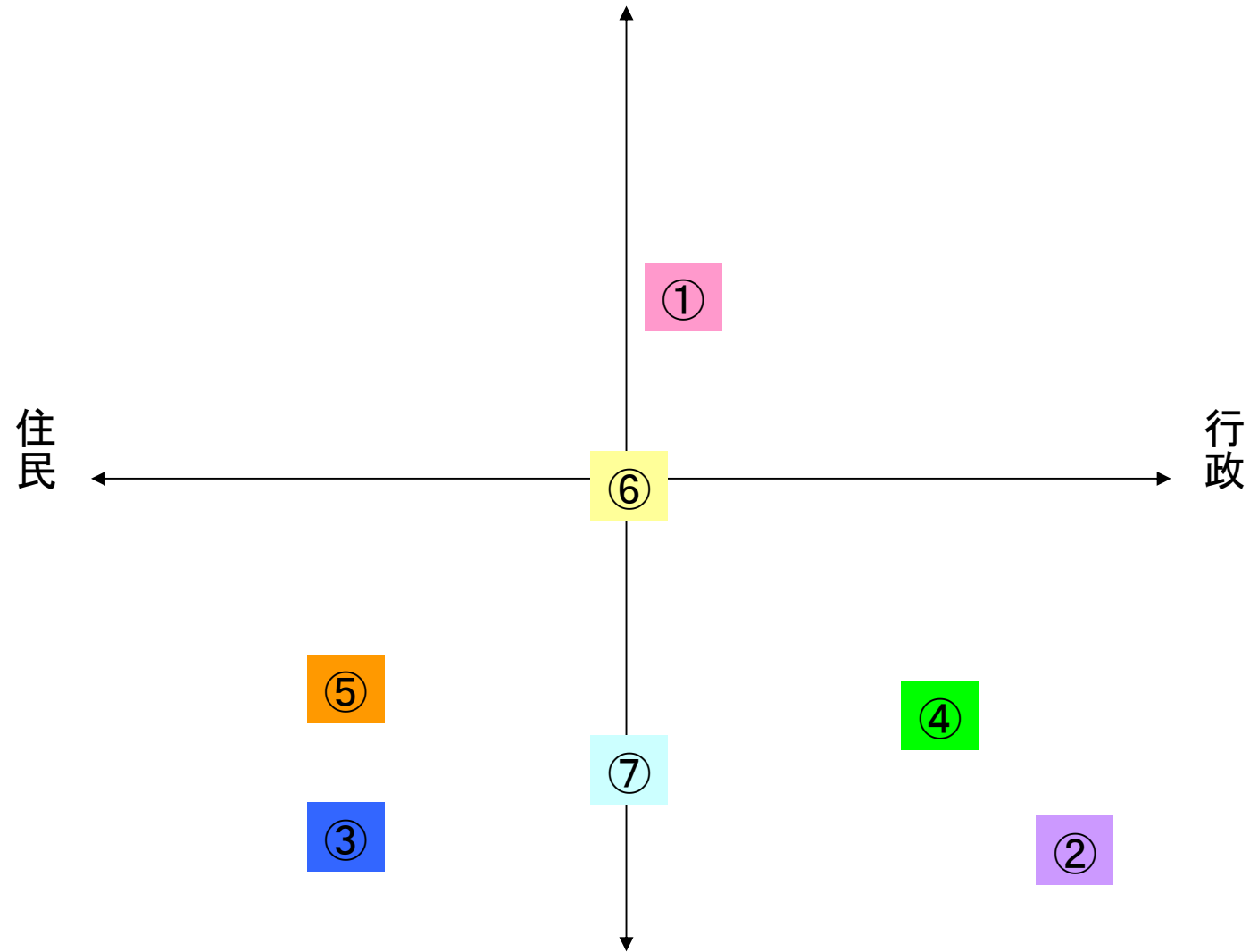
### ⑤参加の減少

(15)	<p>自治会等地域活動への参加者の減少や固定化</p> <p>自治会未加入者の増加、担い手の高齢化、活動内容のマンネリ化</p> <p>地区の集まりがあっても参加が少ない</p> <p>自治会活動への参加の減少</p> <p>集合住宅にお住まいの方達の地区活動への参加が少ない</p>
(16)	<p>隣近所と疎遠になった</p> <p>人口増加により、地域のまとまりが薄れている</p>
(17)	<p>自治会が立ち上がらない</p> <p>自治会がないと聞いたから越してきたという人も</p>
(18)	<p>行政は地域づくりをしていなかった</p>

(19)	<p>気軽に集まれる場がない</p> <p>地域の住民が集う場が必要</p>
(20)	<p>活動主体間の連携が十分とれていないことで活動内容が類似</p> <p>「場」の希薄化によって地域内の縦横の関係を新しくすることが難しい</p> <p>地域における連帯感が希薄化し、地域が本来持っている相互扶助機能の低下</p>
(21)	<p>住民どうしの交流、コミュニケーションの場が少ない</p> <p>地域内のコミュニケーションに不安がある</p> <p>地域内外の交流が不足している</p> <p>住民同士のつながりや地域間の交流が必要</p>
(22)	<p>単身者だと地域活動に参加しにくい</p>

(現時点で)解決が容易

- ①情報共有
- ②施設
- ③人
- ④都市環境
- ⑤参加の減少
- ⑥交流と場
- ⑦地域性



(現時点で)解決が困難

- (1) 情報提供の方法
- (2) 情報管理、整理
- (3) 町のビジョンがわからない
- (4) 情報共有を進めるためには
- (5) 住民ニーズや企業、行政の思いなどのギャップ
- (6) 施設不足(施設の使用方法)
- (7) 街灯施設不足
- (8) 排他的、無関心
- (9) 自治意識、自助努力の低下
- (10) 地域リーダーの育成
- (11) マナー、モラルの低下
- (12) 治安の悪化
- (13) 交通事情の変化
- (14) 地域による差、違い
- (15) 地域活動参加者の減少
- (16) 地域の連帯感の希薄化
- (17) 自治会に加入したくない
- (18) 行政が地域づくりをしていなかった
- (19) 地域住民が気軽に集う場がない
- (20) 互助機能の低下
- (21) コミュニケーション不足
- (22) 地域活動に参加しにくい

